

自慢の特産品が集結！

第16回まるごと豊浦北の収穫祭

3月11日、豊浦ふるさとドームで「第16回まるごと豊浦北の収穫祭」が開催され、町内外から約5,500人が訪れました。

会場には、地元をはじめ、伊達市や洞爺湖町など近隣市町の自慢の特産品が並び、人気を集めました。

同時開催された「第10回TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会」には、58名が出場し、町内で唯一出場された栗田真さん(大岸)は「外国人の参加者と接戦できて、イベント名のとおり世界レベルで楽しめた。町民の参加者も増えてほしい。」と話していました。



▲耳づり体験コーナー大人気！



▲焼きホタテの香ばしい匂いに誘われ、長蛇の列



▲激闘を繰り広げた世界ホタテ釣り選手権大会

全国の舞台で初優勝を飾る

豊浦シーガルス増子くん全国大会出場



▲憧れていた北海道代表ユニフォームを着る増子くん

3月19日、豊浦シーガルの増子幸希くん(豊浦小3年)が、3月24日～25日滋賀県で開催された「多賀グリーンカップ争奪第14回学童軟式野球3年生大会」の北海道代表選手として選抜され、「北海道選抜の初優勝を目指して頑張りたい」と抱負を語っていた言葉とおり、決勝戦でヒットを打つなどチームの優勝に貢献しました。これからの活躍も期待しています。

北方領土問題をもっと知って

北方領土問題を知る住民のつどい



▲参加者に北方領土にまつわる歴史や現状を説明

3月27日、中央公民館で北方領土返還協力員の立谷菱筈さん(苫小牧市在住)が講師を務める、「北方領土を知る住民の集い」が行われました。

「北海道に住む人にとって北方領土問題は、身近な問題だが、年々問題視する人は減り、小さい輪になりすぎている。もっともっと北方領土問題を知ってほしい。」と参加者に呼びかけていました。